

三条市食育推進行動計画 進捗状況

I 【重点施策と数値目標】

施策	評価指標	策定時の値	平成 22 年度目標値	備考
朝食習慣の定着	朝食を欠食することがある人の割合	20 歳代 24.4% 30 歳代 22.1%	20 歳代 15%以下 30 歳代 15%以下	
米を主食とした日本食の実践	主食・主菜・副菜をバランスよく食べる人の割合	44.2%	80%以上	
毎日の食事に地元産の食材を取り入れた地産地消の推進	安全に配慮した野菜等を選ぶ人の割合	85.5%	100%	

◎ 評価について

次のような基準で評価し、記入してください。

○ …計画を達成できた

△ …計画は達成されなかったが、着手・進行中

× …計画に着手できなかった

◎ 実績について

平成 20 年度計画について具体的に実績を記入してください。

◎ 平成 21 年度の計画について

平成 20 年度の実績をうけ、平成 21 年度の計画はどのようにするか記入してください。また、策定した行動計画の内容に変更がある場合も記入してください。

II 【実施主体別行動計画 進捗状況】

実施主体	取組概要	平成 20 年度				平成 21 年度
		評価	計画	実績	備考	計画
1 食生活改善推進委員協議会	ア 親子及び子ども料理教室開催	○	継続実施	7 回実施		地区活動として実施する。
	イ 親子広場における食育の推進	○	各地区 2 回実施	全地区(9 中学校区)で実施		各校区で対応し実施する。 (親子広場が 3 会場で減)
	ウ 保護者対象の食育講座の開催	○	継続実施	食育講座「親子で食育」を実施		地区活動へ普及する。
2 栄養士会	ア 食事バランスガイドによる指導の推進	○	継続実施	各種講習会の際や、日々の献立作成時において念頭におきながら推進した。		継続実施
	イ 食育としての健康教育推進 (幼児の保護者等への働きかけ)	○	継続実施	健康教室を開催し、推進した。		継続実施
	ウ 地場産食材情報の活用 (講習会や職域の献立に活用)	○	継続実施	講習会や献立作成時に活用した。		継続実施
	エ スマートダイエットキャンペーン事業実施 (高校生対象 平成 16 年度から継続事業)	-	継続実施	予定した対象校よりの要請がなく、継続事業が終了した。		事業終了
	オ 食生活指針の普及・啓発	○	継続実施	講習会時に活用して普及をはかった。		継続実施
	カ 健康日本 21・健康にいがた 21・三条市食育推進計画の推進	○	継続実施	講習会等の中で重点的にとりあげ、普及推進をはかった。		継続実施
3 健康推進員協議会	健康増進計画推進と並行し、食育に関する勉強会や講演会を、地区活動を通し実施する	○	継続実施	地域健康教室として 2 回講演会を実施	メタボリックシンドローム予防と食事(南小地区)食育と身近で簡単にできる献立(西鯖田小地区)	地区活動を通し、食育に関する講演会を実施する
4 三条市 PTA 連合会	ア 家庭教育委員会の中で食育を活動テーマとする	○	実施	研鑽会において食育をテーマにした分散会を設置	なぜ食育なのか・食育とは何なのかを発表	食育を保護者に理解していただけるように草の根運動的な活動を行う
	イ 「早寝・早起き・朝ごはん」のキャッチコピーを普及する	○	理事会を通して継続実施	理事会において確認		引き続き推進する

実施主体	取組概要	平成 20 年度				平成 21 年度
		評価	計画	実績	備考	計画
5 農業生産者 (農業担い手協 議会)	ア 安全安心な農産物の生産に励む	—	別組織に移行			別組織に移行
	イ 子どもたちとの交流を進める (ア)農業体験の手伝い(学校教育田)	×	繁忙期に当たるため検討			繁忙期に当たるため検 討
	(イ)農業について語る取組	○	継続	学校給食交流会		継続
	(ウ)田んぼの生き物と環境を考える取組	○		研修会「田んぼの生き物再発見!!」	三条まんま塾	継続
	ウ 消費者との交流 (ア)地域の農産物即売会開催	○	継続	花しょうぶ祭り 鍛冶まつり		継続
	(イ)地域の農産物を利用した講習会開催	○		しみん食育のつどい 食料自給率体感研修	三条まんま塾 三条まんま塾	継続
6 にいがた 南蒲農業協同組 合	ア 安全な地元農産物の確保と流通体制の整備を 進める	○	継続	学校給食・インショップ等に納める生 産者の更なる拡大と生産組織による 生産物の流通体制の整備を図った		継続
	イ 米食の普及に努める	△	継続	学校給食は完全米食化になったが、一 般消費者に対する米食の普及活動は 不足していた		継続(一般消費者向け広 報誌により「米食」をア ピールする)
	ウ 直売市の活性化及びネットワーク化を図る	△	継続	J A 内部の組織による直売市の活性化 は図られたが、外部組織との連携及びネ ットワーク構築は実現出来なかった		継続
	エ 地産地消意識の啓発活動	○	継続	毎月発行している J A 広報誌と年間 3 回 発行している一般消費者向けの広報誌に より地産地消意識の啓発活動を行った		継続
7 三条商工会 議所 (食品部会)	(食品部会) ア 地産地消の推進に向け、バザーを開催し、地元 食材をアピールする	×	20 年度開催に向け、検討予定	実施していない		なし
	イ 食の重要性に関する講習会実施	×	20 年度も継続する	実施していない		未定
	ウ 部会員の先進的な取り組みを他の部員に紹介 し、今後の活動を広げる	○	20 年度も継続する	県内食品加工業者を視察	越路町 (株)ピーコック視察 こだわり食品フェア視察	食品関連企業の視察 食品見本市の視察
	(O 社) 食材宅配：献立表に「食育だより」掲載	○	20 年度も継続する	毎週の献立表に掲載済	引続き内容の充実が課題	21 年度も継続する
	お弁当事業：献立表にカロリー表示	○	20 年度も継続する	毎日の献立表に掲載済	当社の製造品に表示する	21 年度も継続する
	スーパー：地場産コーナー設置 ：食事バランスガイド店内掲示	△	20 年度も継続する	年数回、地元産野菜コーナー設置済	県内産大豆使用の豆腐の販売 開始済	21 年度も継続する
8 行政 (詳細別記)	(1) 乳児期の食育推進 (2) 幼児期の食育推進 (3) 学齢期の食育推進 (4) 青年期の食育推進 (5) 人新規の食育推進 (6) 壮年期の食育推進 (7) 高齢期の食育推進 (8) 地産地消の推進 (9) その他の取組		(詳細別記)			

Ⅲ 年代別行動計画 進捗状況

(1) 乳児期

項目	平成 20 年度				平成 21 年度
	評価	計画	実績	備考	計画
ア 出生手続き時の資料配布	-	配布について検討	授乳・離乳の支援ガイドにより、準備がなくなった。		取組終了
イ 妊婦教室における栄養指導	○	継続実施	マタニティ教室にて、母乳栄養や離乳食の開始などの集団指導（年 24 回）		継続実施
ウ 助産師訪問時の指導	-	助産師による離乳食開始準備指導（指導資料準備）	授乳・離乳の支援ガイドにより、準備がなくなった。		取組終了
エ 3 か月児健康診査・10 か月児健康相談会における指導	○	継続実施	集団・個別指導の実施（各 36 回／年）		継続実施
オ 親子広場での主体的な活動	○	継続実施	食生活改善推進委員が地区活動のテーマに沿った試食を提供		継続実施
カ 子育て支援センターにおける食指導	○	継続実施	実施（年 17 回）	栄地区は毎月実施	継続実施
キ 健診及び保育所担当者の情報交換会	×	実施	未実施		実施検討
ク 5 か月児保育者対象の離乳食相談会や調理指導会	○	5 月より隔月実施	実施（年 6 回、延 149 人）		1 回の参加者数が多いため、毎月実施
ケ 訪問栄養相談	○	随時実施	実施（年 3 件）		随時実施
コ 7 か月児離乳食相談会	○	継続実施	実施（年 24 回、延 297 人）		三地区合同開催とする。
サ 子育てサロンでの栄養相談	○	毎月 1 回実施	実施（年 12 回、延 176 人）		子育てサロン終了 すまいるランドにて「パクパク栄養相談」 実施予定（6 月～ 毎月 1 回）

(2) 幼児期

項目	平成 20 年度				平成 21 年度
	評価	計画	実績	備考	計画
ア 保育所(園)ごとに食育推進計画作成	○	全市施設	全市施設		継続実施
イ 朝食実態調査の実施	○	(ア)全施設で実施 朝食やおやつ、給食時間等 実施予定：11月 (イ)朝食メニューの紹介 試食会や保護者会など	(ア)全施設で実施 朝食やおやつ、給食、午睡時間 実施予定：11月 (イ)朝食メニューの紹介 試食会や保護者会など		継続実施
ウ 幼児肥満等発育調査の実施	○	(ア)全施設で実施 (31 か所) 実施：6月 対象：3、4、5歳児 (イ)要指導児童の保護者に食指導 (ウ)身長体重曲線グラフの活用	(ア)全施設で実施 (31 か所) 実施：6月 対象：3、4、5歳児 (イ)要指導児童の保護者に食指導の実施 (ウ)身長体重曲線グラフの活用		継続実施
エ 幼児肥満予防講座の開催	○	実施予定：9月下旬か10月上旬 対 象：保護者及び保育士(80名) 内 容：医師講話、運動紹介 ※市内保育所・児童館・幼稚園 39 か所に案内配布	実施：10月1日 対 象：保護者及び保育士(65名) 内 容：医師講話、食育講話 ※市内保育所・児童館・幼稚園 39 か所に案内配布		11月頃実施予定
オ 保育所食育推進事業	○	野菜作り、観察、調理体験など 対象：5歳児 実施施設：15か所	野菜作り、観察、調理体験など 対象：5歳児 実施施設：15か所 *児童 321名、保護者 252人が参加		食育講座と一本化する。
カ 野菜作り体験	○	継続実施	保育所のプランターや園庭、畑などを借りて積極的に実施している。		継続実施
キ 調理体験保育	○	対 象：5歳児 ※各保育所が随時実施	実施		継続実施
ク 生産者との交流	△	三条・栄地区：5か所で実施予定	(ア)実施時期：12月から3月まで (イ)実施施設：鱈田、田島、川通、須頃 保育所の4か所 (イ)内容：保育所給食で使用している、 たい菜漬や大根の甘酢漬の作り 方を生産者から話を聞き、一緒 に会食をする。		4か所で実施予定
ケ 地元農産物を活用した給食の実施	○	(ア)給食メニューを玄関に展示 (イ)使用食材の展示 (ウ)レシピの配布 ※各保育所で実施	(ア)毎日実施 (イ)季節の旬の食材や珍しい食材の展示 (ウ)給食だよりで紹介 ※各保育所で実施		継続実施
コ 給食だより活用	○	食育や給食の献立紹介	実施		継続実施
サ 試食会時の食育講話	○	各保育所で随時実施	各保育所で実施		保育所が開催する試食会で保護者に食育講話をする。

項目	平成 20 年度				平成 21 年度
	評価	計画	実績	備考	計画
シ 食育講座の実施	○	内容：講話、親子で調理実習（カレーの材料などを切る体験） 対象：保護者と5歳児 実施施設：田島、裏館、旭、保内、一ノ門、嵐南、鱈田、須頃、西四日町、北陽保育園、つくし、ふじの木、きらきら、大和、あいあい、荻堀、荒沢、千代が丘の18か所で実施	内容：講話、親子で調理実習（カレーの材料などを切るなど調理体験） 対象：保護者と5歳児 実施施設：18か所 * 児童403名、保護者380人が参加		野菜作り体験と一本化する。 (ア)全施設で実施(31か所) (イ)時期：5月から3月まで (ウ)対象：保護者と5歳児 (エ)内容：児童が栽培し、収穫した農産物等を使用して調理実習を行い、保護者に食育講話を行う。
ス ごはん量調査の実施	○	(ア)全施設で実施 調査時期：6月、11月 対 象：3、4、5歳児 (イ)試食会、保護者懇談会等でごはん量の展示	(ア)全施設で実施 調査時期：6月、11月 対 象：3、4、5歳児 (イ) 試食会、保護者懇談会等でごはん量の展示を実施		継続実施
セ 私立幼稚園への啓発活動	△	(ア)催物の案内配布 (イ)食育推進の啓発資料など配布	(ア)実施		継続実施
ソ 保育所巡回指導	○	(ア)全施設で実施（31か所） (イ)時期：5月から3月まで (ウ)回数：1施設月1回巡回指導 (エ)内容：5歳児を中心に食品カードを活用し、食品の三色分け等を指導	(ア)全施設で実施（31か所） (イ)時期：5月から3月まで (ウ)回数：延べ411回、6,798名の児童と関わる。 (エ)内容：5歳児を中心に食品カードを活用し、食品の三色分け等を指導		(ア)全施設で実施(31か所) (イ)時期：5月から3月まで (ウ)回数：1施設月1回程度巡回 (エ)内容：各保育所の巡回指導計画に添い、5歳児を中心に行う。
タ 指導者食育研修会	○	実施時期：5月実施 対 象：保育士等 内 容 (1)野菜づくりの講話 (2)畑で野菜づくりの指導 ※市内保育所・児童館・幼稚園39か所に案内配布	実施：5月13日 対象：保育士等（33名） 内 容 ○講話及び実技指導「畑やプランターを利用した野菜作り ～春の苗植え～」 ○講師：新潟県三条地域振興局農業振興部普及課 普及指導員 遠藤厚志様 ※市内保育所・児童館・幼稚園39か所に案内		実施：5月12日 対象：保育士等（34名） 内 容 ○講話及び実技指導「畑やプランターを利用した野菜作り ～春の苗植え～」 ○講師：新潟県三条地域振興局農業振興部普及課 普及指導員 遠藤厚志様 ※市内保育所・児童館・幼稚園39か所に案内

(3) 学齢期

項目	平成 20 年度				平成 21 年度
	評価	計画	実績	備考	計画
ア 各学校食育推進計画作成	○	市内全小中学校に作成要請	市内全小中学校で作成	年間及び月間計画	市内全小中学校に作成要請
イ 学校食育推進事業	○	<p>○血液検査対象者 全小学校 5 年・全中学校 1 年</p> <p>○事後指導（全 25 校） 対象校区：三中、四中、本成寺中 大島中、栄中、下田中</p> <p>○事後指導の内容 個別指導 集団健康教育（授業） 食育講演会 親子食育教室（調理・運動体験） 保育所児童との交流会</p>	<p>○血液検査等 検査項目：貧血・脂質代謝・肥満 全小学校 5 年（941 人） 全中学校 1 年（998 人）</p> <p>○事後指導 対象校区：三中、四中、本成寺中、大島中、栄中、下田中</p> <p>○指導内容 個別指導：57 回 児童生徒 516 人(対象の 90%) 保護者 375 人(対象の 80%) 食育授業：小学校 19 校、531 人 中学校 9 校、968 人 食育講話・講演会：25 校 児童生徒 1,373 人、保護者 374 人 親子食育教室：19 校 児童 541 人、保護者 358 人 保育所児童との交流会：小学校 8 校</p>		<p>○血液検査対象者 全小学校 5 年・全中学校 1 年</p> <p>○事後指導（全 28 校） 対象校区：三中、四中、本成寺中、大島中、栄中、下田中、第二中学校</p> <p>○事後指導の内容 個別指導 食育授業 食育講話・講演会 親子食育教室 保育所児童との交流会</p>
ウ 指導者食育学習会開催	○	<p>実施 内容は未定</p>	<p>実施日：1 月 23 日 対 象：教諭、養護教諭、学校栄養職員、保育士、幼稚園教諭等 参加者：70 人 内 容： ○講演「子どもたちに伝えていきたい農業」 三条市農業担い手協議会 理事伊部利一様 ○講話「食べる力を育てるために」 新潟県栄養士会三条支部 中村スミイ様</p>		<p>実施 日程、内容は未定</p>
エ 学校栄養職員を授業者とする食教育実施	○	継続実施	小学校述べ 82 学級、中学校述べ 28 学級で実施		継続実施
オ 給食時間実態調査	○	調査	調査を実施し、現状維持		調査
カ 食農教育実施	△	<p>(ア)教育田等の活用 (イ)生産者による食農教育の実施状況把握 (ウ)生産者交流会実施</p>	<p>○小学校水稲 24 校 ○生産者による食農教育（未集計） ○生産者交流会 小学校 15 校、中学校 1 校で実施</p>		<p>(ア)教育田等の活用 (イ)生産者による食農教育実施状況把握 (ウ)生産者交流会実施</p>
キ 米を主食とした給食の実施 （日本食基本）	○	<p>(ア)地場農産物の活用 (イ)完全米飯給食の実施 (ウ)給食時の牛乳飲用について検討継続</p>	<p>(ア)実施 (イ)完全米飯給食実施（例外なし） (ウ)検討中</p>		<p>(ア)地場農産物の活用 (イ)完全米飯給食の継続実施 (ウ)給食時の牛乳飲用について検討継続</p>
ク 給食試食会開催	○	継続実施	食育講話を小学校において 34 回実施		継続実施
ケ 給食だより活用	○	食育や地産地消に関する記事を掲載	実施		継続実施

(4) 青年期

項目	平成 20 年度				平成 21 年度
	評価	計画	実績	備考	計画
ア 一人暮らしのための献立集作成	×	市内県立高校養護教諭と企画			市内県立高校養護教諭と企画
イ 料理教室の開催	×	市内県立高校養護教諭と企画			市内県立高校養護教諭と企画
ウ 食に関する啓発活動	△	市内県立高校養護教諭と企画 文化祭等で食事バランスについて展示	県立県央工業高校家庭科教諭と連携し、 3 年生 71 人を対象に食育授業を実施		食育授業の実施 ○対象 県立県央工業高校 3 年生 ○日程 6 月 22・24・25・26 日 文化祭等で食事バランスについて展示
エ 夏休みダイエット講座開催	×	市内県立高校養護教諭と企画			市内県立高校養護教諭と企画

(5) 妊娠期

項目	平成 20 年度				平成 21 年度
	評価	計画	実績	備考	計画
ア 妊婦意向調査の実施	△	対象者意向調査準備・実施	産婦人科での教室や、既存事業との内容を検討し、マタニティ教室の見直しを実施した。		取組終了
イ 医療機関、健康推進委員、食生活改善推進委員との情報交換会	×	実施	未実施		検討
ウ 妊婦対象の栄養相談会を開催	×	企画・準備	未実施		開設健康相談会と併せて実施
エ 妊婦教室開催	○	マタニティ教室第一、第二とも集団指導及び個別相談 食生活チェック実施	マタニティ教室にて、バランス食の集団指導及び食生活チェック実施		教室見直しにより、マタニティ教室は月 1 回実施となる。(第二コース終了)
オ 訪問栄養相談	-	随時実施		対象者なし	随時実施

(6) 壮年期

項目	平成 20 年度				平成 21 年度
	評価	計画	実績	備考	計画
ア 食事・栄養相談の実施	○	電話・来庁による食生活相談	実施		随時実施
イ 基本健康診査結果説明会時の指導及び健康相談会実施	○	(ア)特定健診結果説明会 (イ)糖尿病予防教室(12回) (ウ)生活習慣病予防教室(12回) (エ)骨粗しょう症健診事後指導会(5回)	(ア)特定健診結果説明会(41か所) (イ)糖尿病予防教室(12回) (ウ)生活習慣病予防教室(12回) (エ)骨粗しょう症健診事後指導会(3回)		(ア)特定健診結果説明会 (イ)糖尿病予防教室(9回) (ウ)生活習慣病予防教室(6回) (エ)骨粗しょう症健診事後指導会(3回)
ウ 食生活改善推進委員及び健康推進員の地区活動の支援と連携	○	(ア)生活習慣病予防講習会 (イ)男の料理教室 第一中学校区、第三中学校区 (ウ)栄養改善講習会(下田・栄地区にて開催)	(ア)生活習慣病予防講習会(37回) (イ)男の料理教室 a 第一中学校区(3回実施) b 第三中学校区(1回実施) (ウ)栄養改善講習会実施 栄地区5か所、下田地区10か所		継続実施
エ 運動教室における食生活指導実施	○	栄養指導実施 集団指導、個別食事相談	延べ97人に対して集団指導と個別食事相談を実施		三条地区は地域活動栄養士に依頼 栄・下田地区は継続
オ 地区組織育成 (食生活改善推進委員協議会 健康推進員協議会)	○	(ア)栄養教室 全8コース (イ)育成のための研修会開催 年2回	(ア)栄養教室修了生 21人 (イ)研修会 第1回 4月30日、第2回 12月3日、 第3回 2月16日		(ア)継続実施 (イ)継続実施

(7) 高齢期

項目	平成 20 年度				平成 21 年度
	評価	計画	実績	備考	計画
ア 食生活相談会実施	○	(ア)電話・来庁による食生活相談 (イ)簡単バランス献立作成・紹介	実施		随時実施
イ 在宅給食サービス事業支援	○	(ア)献立提供 (イ)希望者食生活相談実施	(ア)実施 (イ)希望者なし		(ア)地域活動栄養士に依頼 (イ)継続実施
ウ 食生活改善推進委員及び健康推進員の地区活動の支援と連携	△	(ア)地域いきいきセンター通所者への食生活相談(2か所) (イ)老人会やシルバー人材センター会員への食に関わる講習会(年1回) (ウ)男の料理教室開催(第一、第三中学校区食推主催)	(ア)未実施 (イ)シルバー人材センター会員へ講習会実施(1回) (ウ)男の料理教室開催 第一、第三中学校区食推主催で併せて4回実施		継続実施
エ 介護予防事業支援	×	いきいきセンター通所者への栄養指導	未実施		実施検討

(8) 地産地消

項目	平成 20 年度				平成 21 年度
	評価	計画	実績	備考	計画
ア 給食地元農産物利用促進事業	○	生産者、農協、納品業者、学校給食調理場等の関係者と連携し、地元農産物の年間使用計画を立て、毎月打ち合わせ会をもちながら、取組を進める。	4月から2月まで毎月打合せ会を実施、冬場でも芋類、大豆、漬物などを計画的に使用（全28品目）		継続実施
イ しみん朝市仲間の会活動支援	○	三條機械スタジアムで実施 継続支援	5月から12月(30回)開催 初日や最終日のイベント協力、打合せ会や総会等の開催支援、広報掲載等		継続実施
ウ 地産地消の意識啓発	○	広報・ホームページ・出張トーク	食育メールの中で取り上げ、ホームページ掲載		継続実施
エ 直売市のネットワーク化	○	農業活性化プランの中に位置づける	地産地消運動の取組として明記した。		直売所等の情報交換会を開催する
オ 地産地消懇談会	○	継続実施	開催日：6月11日実施 参加者：生産者21名 内容：出荷量及び組織づくりについて		品目ごとに目合せ（規格検討）の実施

(9) その他

項目	平成 20 年度				平成 21 年度
	評価	計画	実績	備考	計画
ア 食育推進委員会開催	○	5月22日開催、10月開催予定	第1回5月22日 第2回8月7日 第3回12月5日 第4回1月29日		三条市食育推進及び農業振興審議会開催 (年2回開催予定 第1回 5月28日)
イ 啓発活動 (ア)しみん食育のつどい開催	○	11月1日(土)開催予定 おにぎりコンテスト、講演会	11月1日(土)開催 来場者360人 おにぎりコンテスト最終審査・表彰式 講演「和食の底力」小泉武夫先生		10月17日(土)開催予定 我が家自慢のおかずコンテスト、講演会等
(イ)市民給食試食会開催	○	三地区にて開催予定 三条地区 7月23日(水) 栄地区 11月7日(金) 下田地区 10月28日(火)	7月23日(水)総合福祉センター 120人 10月28日(火) ウェルネスしただ 87人 11月7日(金)農村環境改善センター 57人		秋に開催予定 会場：総合福祉センター
(ウ)出張トーク等実施	○	随時実施	19回実施		継続実施
(エ)広報・ホームページ活用	○	食育メール(毎月実施)	毎月実施		継続実施
(オ)のぼり、垂れ幕の活用	○	予算要求	食育横断幕の設置	チームぐつつらから、寄付金をうけて設置	未定
ウ 食の循環、生ごみリサイクル堆肥化事業支援	○	継続実施	保育所や直売市関係者にバイオマス肥料を紹介		継続実施

項目	平成 20 年度				平成 21 年度
	評価	計画	実績	備考	計画
エ その他の活動	○	各公民館で食に関する講座を開催予定	各公民館で食に関する講座を開催 中央公民館 1回 延べ 253人 嵐南公民館 12回 延べ 260人 井栗公民館 21回 延べ 223人 本成寺公民館 36回 延べ 261人 大崎公民館 44回 延べ 380人 保内分館 1回 延べ 19人 大島公民館 24回 延べ 274人 栄公民館 5回 延べ 107人 下田公民館 5回 延べ 44人		各公民館で食に関する講座を開催 中央公民館(農業体験講座 5月～11月) 嵐南公民館(ひまわり専科等) 井栗公民館(男の料理教室等) 本成寺公民館(料理教室等) 大崎公民館(男の料理教室等) 保内分館(いきいき健康づくり講座等) 大島公民館(旬のおいしい料理教室等) 栄公民館(子供料理教室) 下田公民館(男の料理教室等)
オ 食育推進計画進捗状況の把握	○	各種調査の実施	乳幼児健診時食生活調査 幼児肥満実態調査、保育所ごはん量調査 学校給食残量調査 子どもの生活実態調査 学校給食時間調査 給食地元農産物使用量調査		継続実施